

スクラップ処分費等の合計額※がマイナスの場合の端数切捨について

<新積算システムの仕様>

新積算システムでは、端数切捨が”低い金額になるように端数処理を行う”という仕様となっていることから、スクラップ処分費等の合計額がマイナスになる場合、以下の計算例のとおりとなります。

※ 合計額=数量×単価

<計算例>

(少数以下切捨て)

| 合計額 | | 合計額 (端数処理後) |
|------------|---|-------------|
| 1,002.3 円 | ⇒ | 1,002 円 |
| -1,002.3 円 | ⇒ | -1,003 円※ |